

各 位

平成19年8月3日

会社名 松尾電機株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 清水 巧
コード番号 6969 大証市場第2部
問合せ先 執行役員・総務経理部門長 竹野井 薫
TEL (06)6332-0871

平成20年3月期中間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等をふまえ、平成19年5月22日の決算発表時に公表した、平成20年3月期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の業績を下記のとおり修正致します。

記

A. 中間業績予想の修正

1. 連結業績予想の修正

(単位：百万円,%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	4,130	△ 50	△ 50	△ 60
今回修正予想 (B)	4,100	△ 240	△ 220	△ 240
増減額 (B-A)	△ 30	△ 190	△ 170	△ 180
増減率 (%)	△ 0.7	—	—	—
前年同期実績 (平成19年3月期)	4,036	△ 24	△ 30	△ 43

2. 単独業績予想の修正

(単位：百万円,%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	4,100	△ 50	△ 50	△ 60
今回修正予想 (B)	4,070	△ 250	△ 240	△ 250
増減額 (B-A)	△ 30	△ 200	△ 190	△ 190
増減率 (%)	△ 0.7	—	—	—
前年同期実績 (平成19年3月期)	4,007	1	△ 3	△ 15

B. 通期業績予想の修正

1. 連結業績予想の修正

(単位：百万円, %)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	8,550	100	100	80
今回修正予想 (B)	8,520	△ 140	△ 130	△ 150
増減額 (B-A)	△ 30	△ 240	△ 230	△ 230
増減率 (%)	△ 0.4	—	—	—
前年同期実績 (平成19年3月期)	8,110	△ 216	△ 231	115

2. 単独業績予想の修正

(単位：百万円, %)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	8,500	70	70	60
今回修正予想 (B)	8,470	△ 160	△ 140	△ 160
増減額 (B-A)	△ 30	△ 230	△ 210	△ 220
増減率 (%)	△ 0.4	—	—	—
前年同期実績 (平成19年3月期)	8,049	△ 197	△ 206	41

C. 修正理由

【連結】

当社グループは tantalum コンデンサ、回路保護部品の製造・販売を主たる事業としており、当第1四半期に於いて連結総売上には占める割合は前者が約84%、後者が約11%です。

当第1四半期に於いて、主力の tantalum コンデンサの出荷数については、携帯電話、デジタルカメラ等の伸長に対して、下面電極構造チップ tantalum コンデンサを中心に供給を増加させ、その数量増加率は前年同期比17.4%となりましたが、売上金額としては前年同期比0.5%の増加に止まりました。

これは、当第1四半期に於ける出荷数増加の大半を占める下面電極構造チップ tantalum コンデンサに係る販売価格が、当該コンデンサはセットメーカーに於いても価格競争の激しい製品に組込まれるため、非常に厳しいものとなっており、他の tantalum コンデンサに係る価格競争と相まって、売上金額は横這いに止まったためです。

費用面につきましては、下面電極構造チップ tantalum コンデンサの収率が、漸次改善はしているものの未だ目標値に達しないため製造費用が目標水準を超過し、また同コンデンサの増産準備のための費用も増加しました。

上記の状況は当面続くものと見込まれ、このため誠に遺憾ながら当中間期、通期の業績は、いずれも前回発表値を下回るものと見込んでいます。

今後の見通しにつきましては、下面電極構造チップ tantalum コンデンサの需要は今後も増加するものと見込んでおり、当社グループの業績回復には、同コンデンサに係る収率の改善が焦眉の問題のため、全社一丸となって当下半期半ばには目標収率を達成する決意で取り組んでおります。また、回路保護部品につきましては、既に販売を開始した5面電極マイクロヒューズは順調に売上が増加しており、当下半期からはサーミアブソーバ、大電流品の販売を予定しており、業績に貢献するものと見込んでおります。

上記施策により、当下半期より業績は回復するものと見込んでおりますが、当中間期の各損益の赤字を補填することは出来ず、通期に於きましても、各損益は赤字に終わるものと見込んでおります。

【単体】

上記【連結】に記載した理由と同様の理由により、前回発表値を修正いたします。

(注)上記業績予想につきましては、現時点で入手利用可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、様々な不確定要因が内在しています。今後当社グループを取り巻く市場の経済情勢等により実際の業績は、上記記載の業績予想数値と異なる可能性があります。

以 上